

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和5年9月3日 VOL.181

“第12回 “医療・介護・福祉フォーラム2023” ～人生最終章における医療の意味～

日時：令和5年9月3日（日） 場所：
藤枝市民会館ホールにおいて、「第12
回 “医療・介護・福祉フォーラム
2023” 【共催：志太医師会（会長：森
泰雄氏）・藤枝市】を開催しました。

講師：石飛 幸三氏
世田谷区特別養護老人ホーム
芦花ホーム・上北沢ホーム特別顧問（コー
ディネーター）

主な著書：『「平穏死」のすすめ口から食べ
られなくなったらどうしますか』『平穏死と
いう生き方』



来場者は125人、YouTube視聴
は延べ202回でした。



講演内容の一部を紹介

三宅島から芦花ホームに入所した方のエピソードでは「自然を受け入れる。食べないから死ぬのではない。死ぬから食べないのだ。」と島の文化に触れた話がありました。

最後に「人それぞれ自分の人生を生きている。自分の人生にとっての医療の意味を考えて欲しい。」というメッセージがありました。

参加者の感想から

- ・ 生きる意味を考えさせられた。
- ・ 自分で決められるうちに、自分の意思をはっきり伝えておくことが大切と改めて思った。
- ・ 本人の意思を尊重していきたい。
- ・ 食べるということを基準に医療の在り方を考える視点が勉強になりました。

本市では、志太医師会在宅医療サポートセンター（センター長：山崎健司医師）と協働し、「平穏死を考える集い」などを通して、市民とともに「平穏な最期」や「より良く生きるために」などについて語り、市民と共に学び合う機会を設けていきます。

バックNoの検索は

